

グラフで見る東海経済 (2020年10月)

2020年10月28日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直している

【今月のポイント】

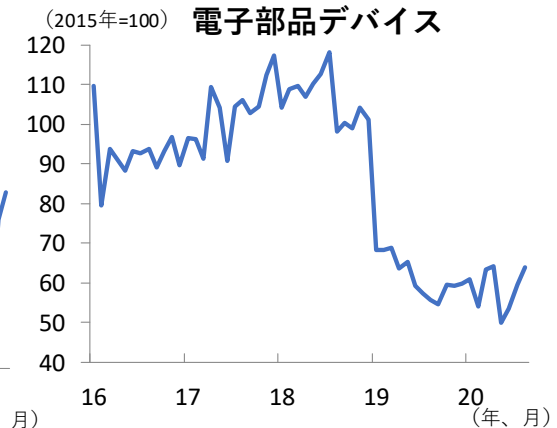
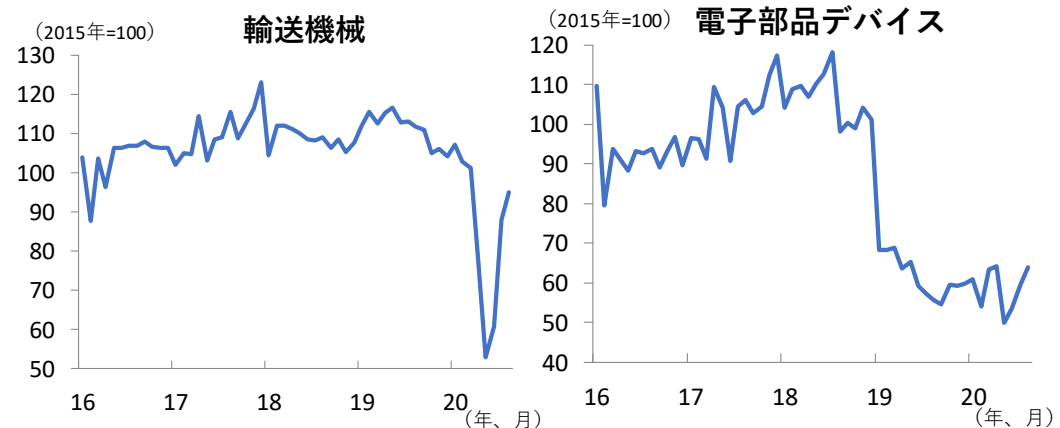
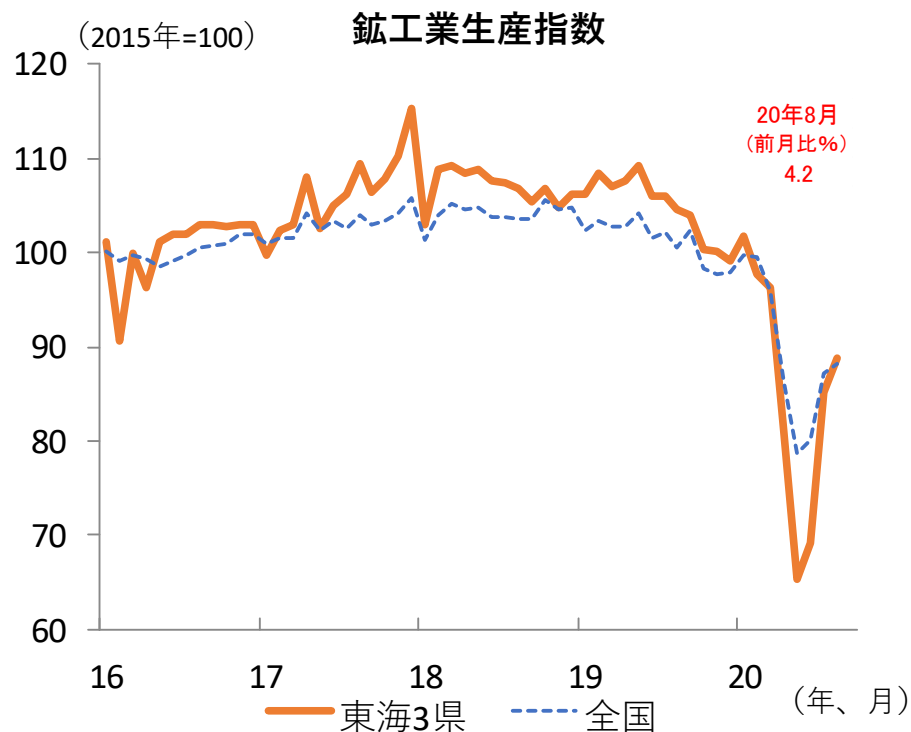
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、足下の指標は総じて厳しい水準にあるが、持ち直している。
- 生産は輸送機械の持ち直しもあって、鉱工業全体でも持ち直している。先行きについても持ち直しが続くと見込まれる。
- 名目輸出(9月)は前年比で増加に転じた。
- 個人消費では、巣ごもり消費でスーパー、ドラッグストア、家電の増加が続く。小売販売全体でも4ヶ月連続で前年比で増加。

項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直している(↑)
生産	持ち直している(↑)
輸出	持ち直している(↑)
設備投資	弱含んでいる
雇用	弱い動きとなっている
賃金	弱含んでいる
個人消費	持ち直している
住宅投資	弱含んでいる
公共投資	横ばい圏で推移している

生産

8月の鉱工業生産(東海)は前月比+4.2%と3ヶ月連続で増加した。

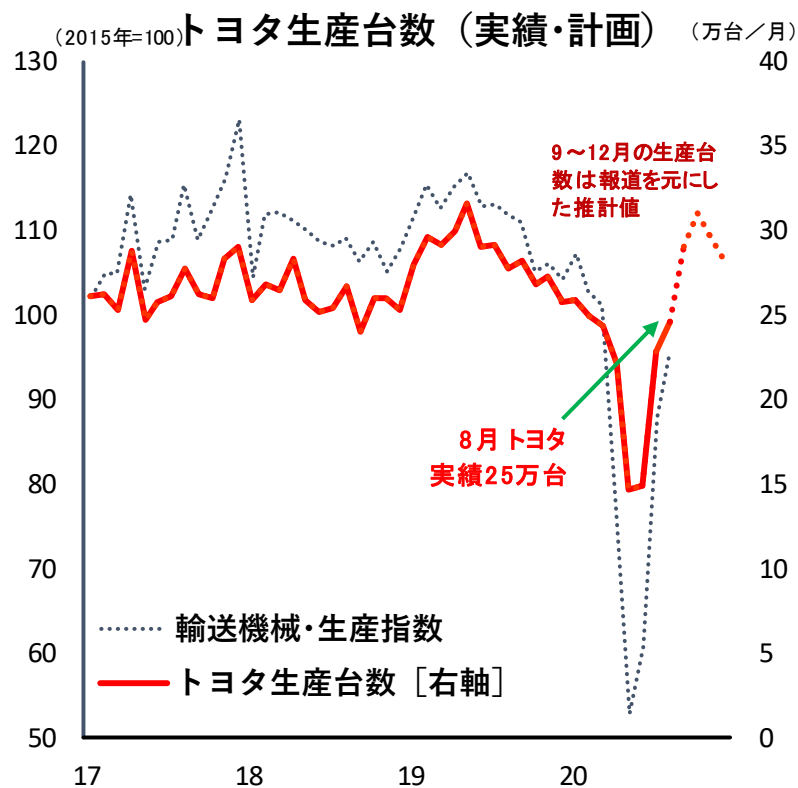
ウェイトの5割を占める輸送機械のほか、電子部品デバイス、電気機械、汎用・生産用・業務用機械など主要業種が増加した。



(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

生産（金属工作機械、トヨタ生産計画）

8月のトヨタ生産台数（弊社季節調整値）は25万台と前月から増加した。先行きは回復が見込まれている。8月の金属工作機械受注は、前年比-20.5%と大幅減が続いているが減少幅は縮小している。国内向け、海外向けとも減少。中国向けが同一-11.1%と3ヶ月ぶりに減少した。



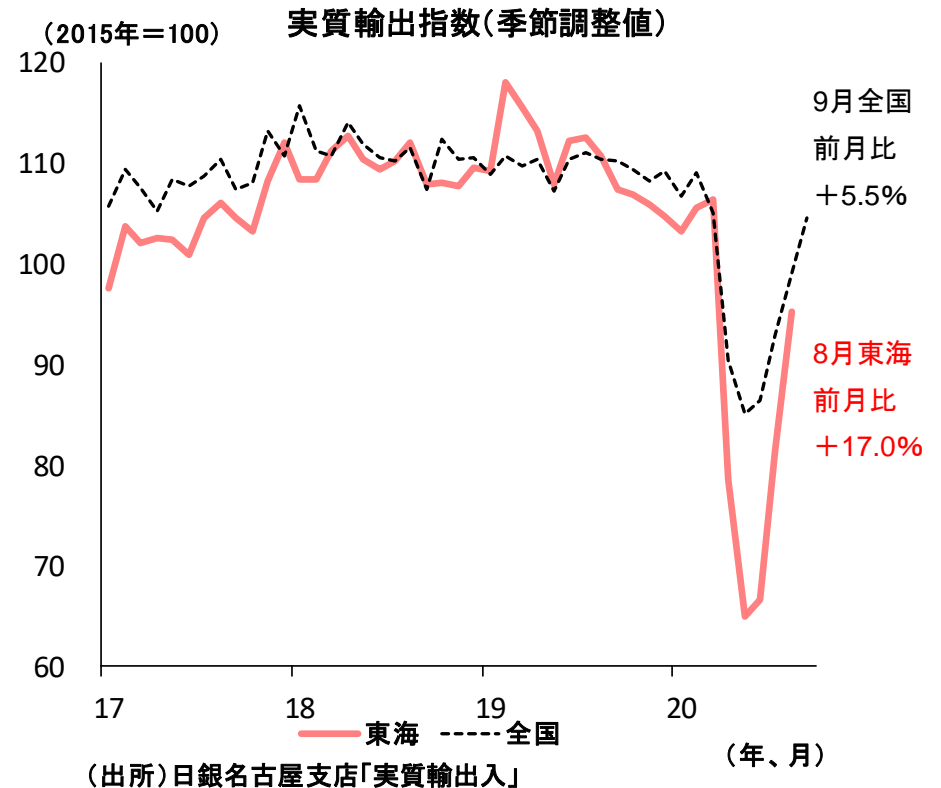
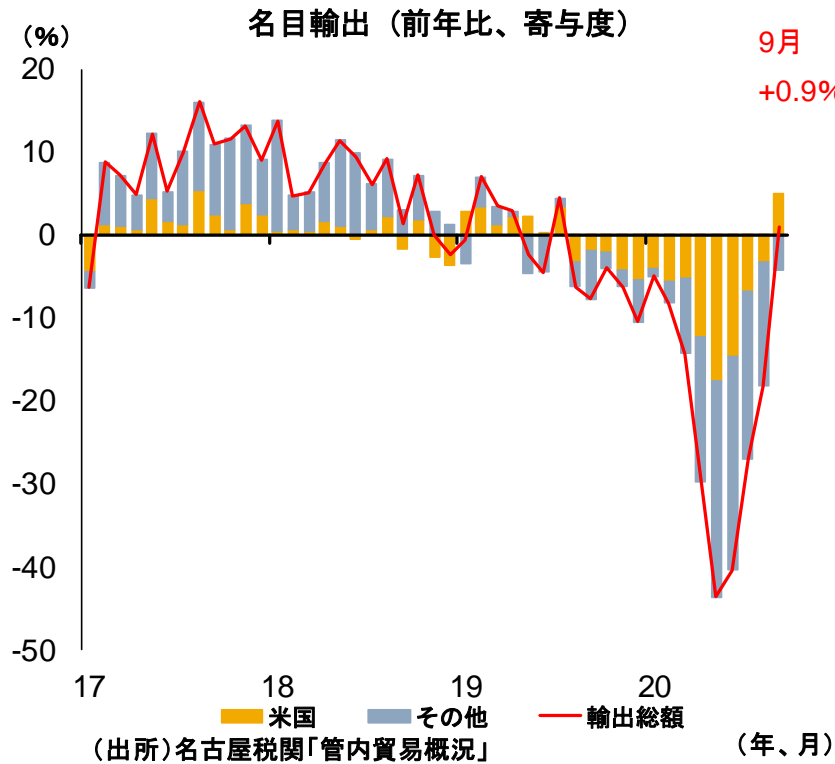
(注)トヨタ生産台数の季節調整は当社、輸送機械・生産指数は東海3県
(出所)中部経済新聞、中部産業局「鋳工業生産指数」鉄鋼新聞



(出所)中部経済産業局「金属工作機械受注」

輸出

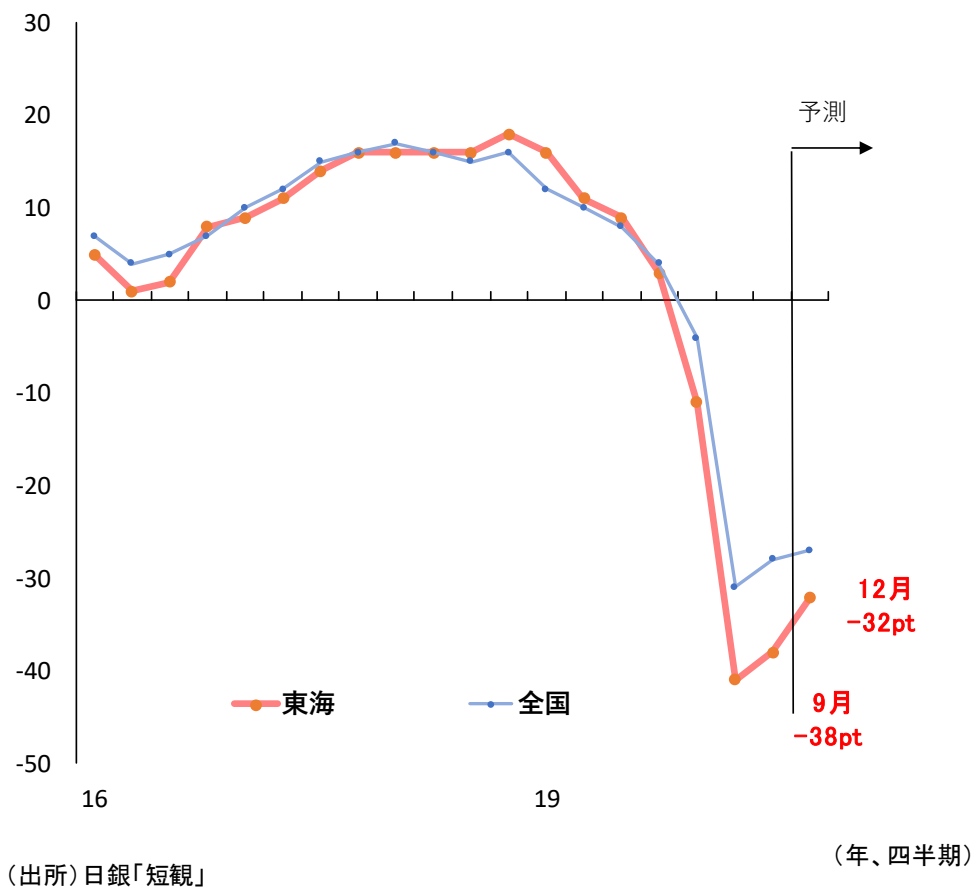
9月の名目輸出額は前年比+0.9%と14ヶ月ぶりに増加した。北米、EU向けが増加に転じ、アジア向けは減少幅が縮小した。業種別では、自動車(同-3.1%)の減少が続くが、マイナス幅は縮小した。
8月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+17.0%と3ヶ月連続で増加した。



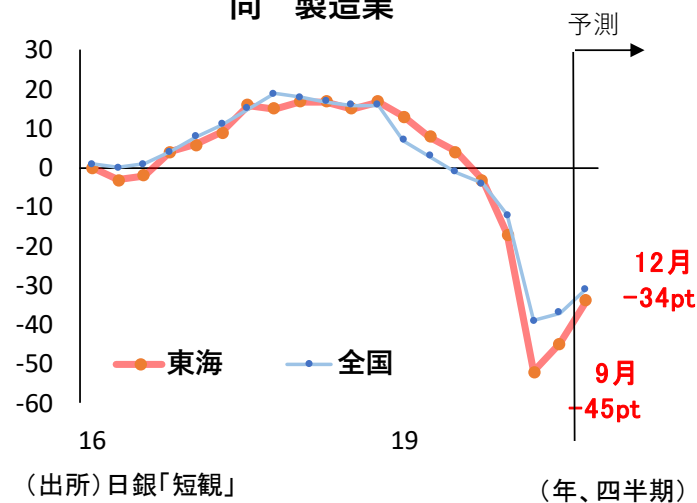
企業景況感(日銀短観)

日銀短観9月の業況判断DIは全産業で-38ptと小幅改善した。非製造業は-31ptと悪化した。製造業が-45ptと改善した。先行きは、非製造業はほぼ横ばい、製造業は改善が見込まれている。

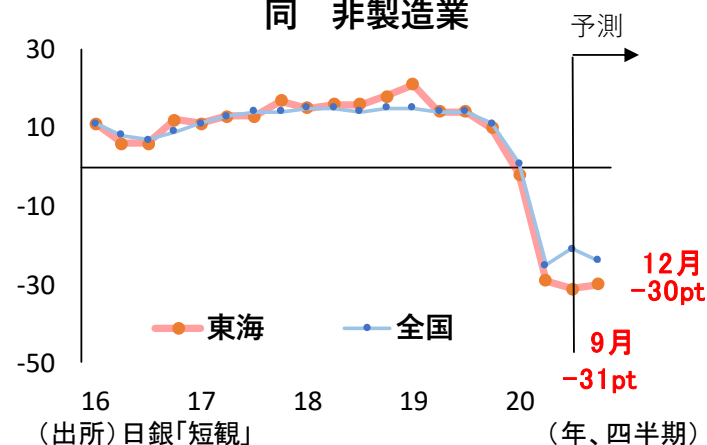
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業

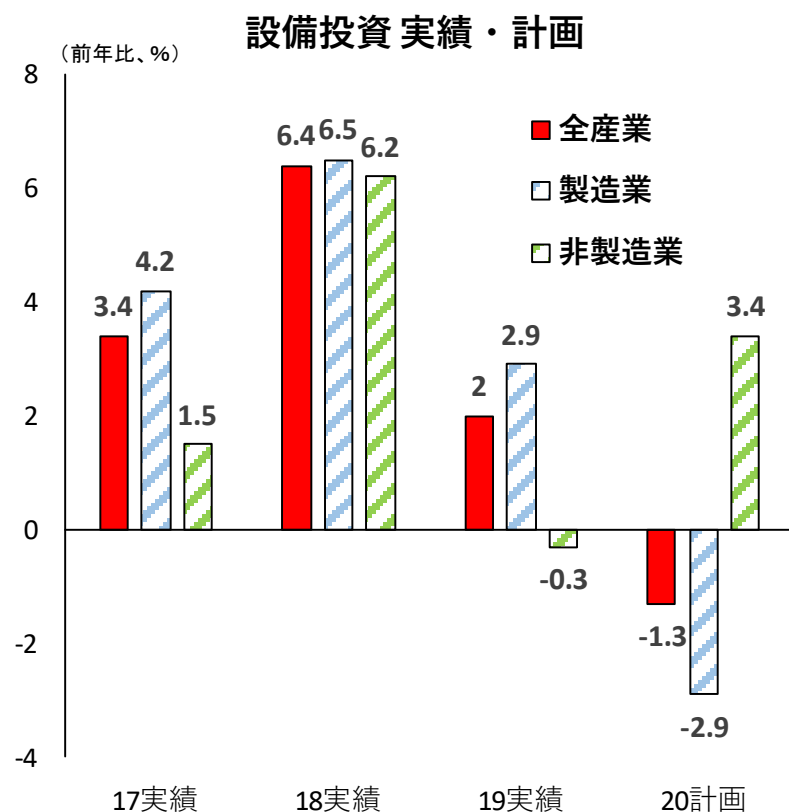


同 非製造業



設備投資

日銀短観9月調査によると、20年度の設備投資計画は、非製造業が前年比+3.4%と小幅上方修正し増加を見込む一方、製造業は同一-2.9%と下方修正となり減少を見込む。不動産、小売が大幅増、鉄鋼、非鉄金属が大幅減の計画。全産業では同一-1.3%と6月調査の小幅増から減少に転じた。



設備投資額（前年比%）

	19年度 実績	20年度 計画		
		今回	6月調査時 [差異]	
全産業	2.0	-1.3	0.8	-2.1
製造業	2.9	-2.9	-0.1	-2.8
非製造業	-0.3	3.4	3.3	0.1

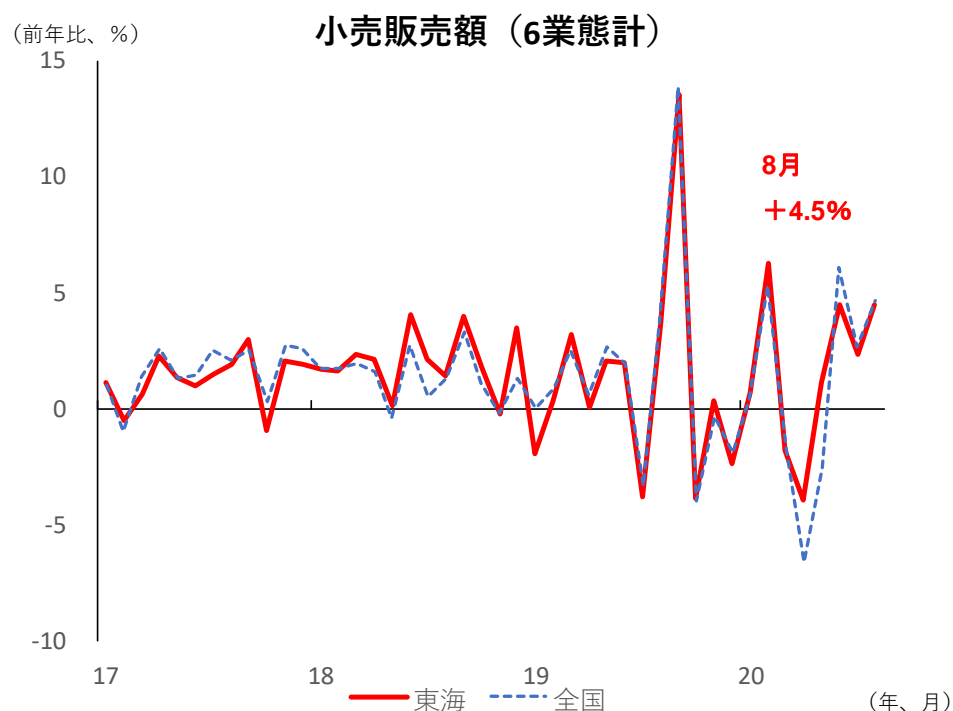
(出所)日銀名古屋支店「短観」

(年度)

個人消費(小売売上、自動車販売)

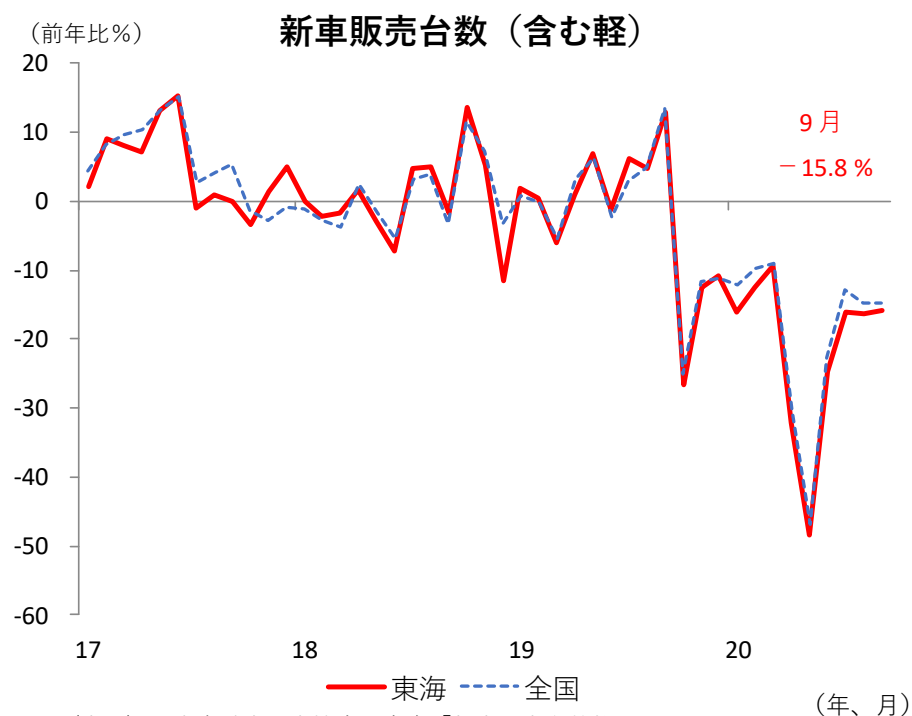
8月の小売販売額は前年比+4.5%と4ヶ月連続で増加した。コロナ感染再拡大による外出減少により百貨店、コンビニは減少したが、スーパーなど巣ごもり関連消費が好調だった。

9月の新車販売は前年比-15.8%と12ヶ月連続で減少した。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

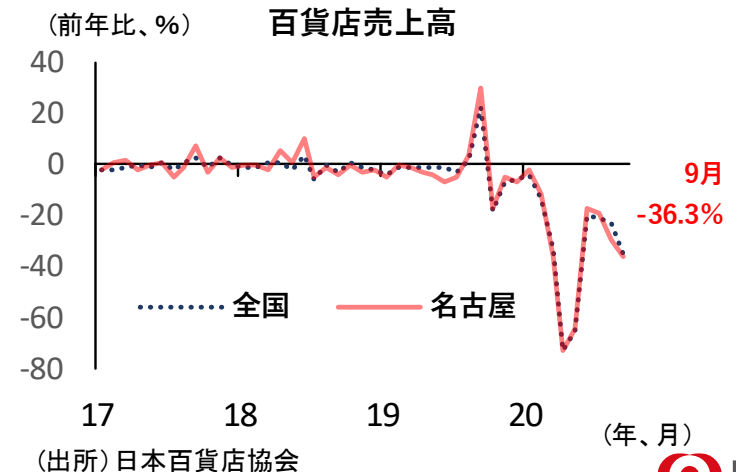
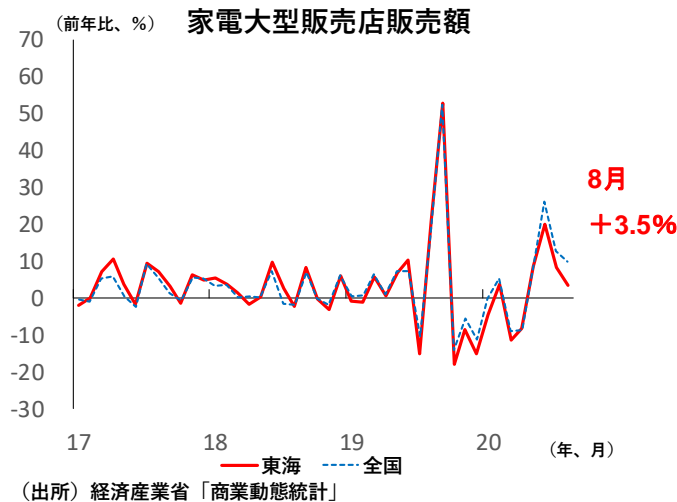
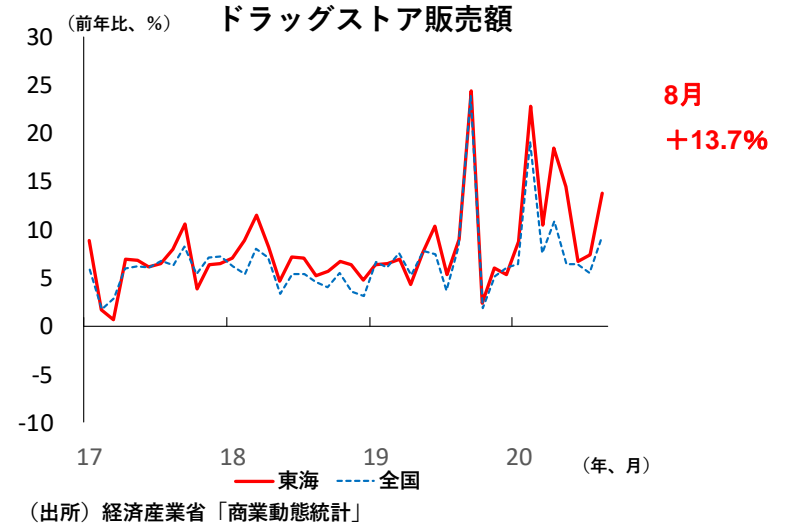
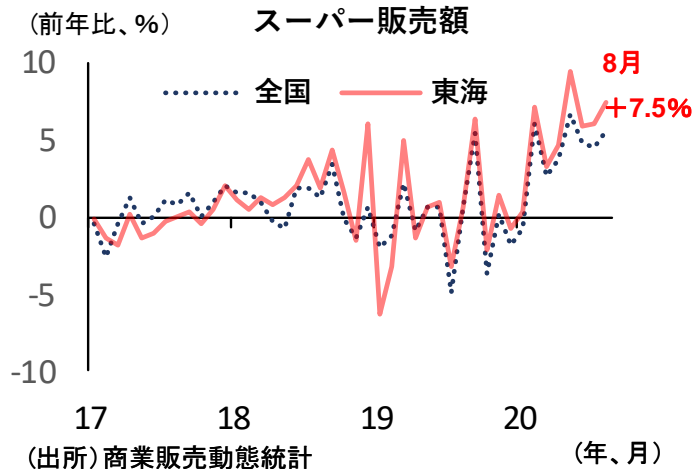


(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

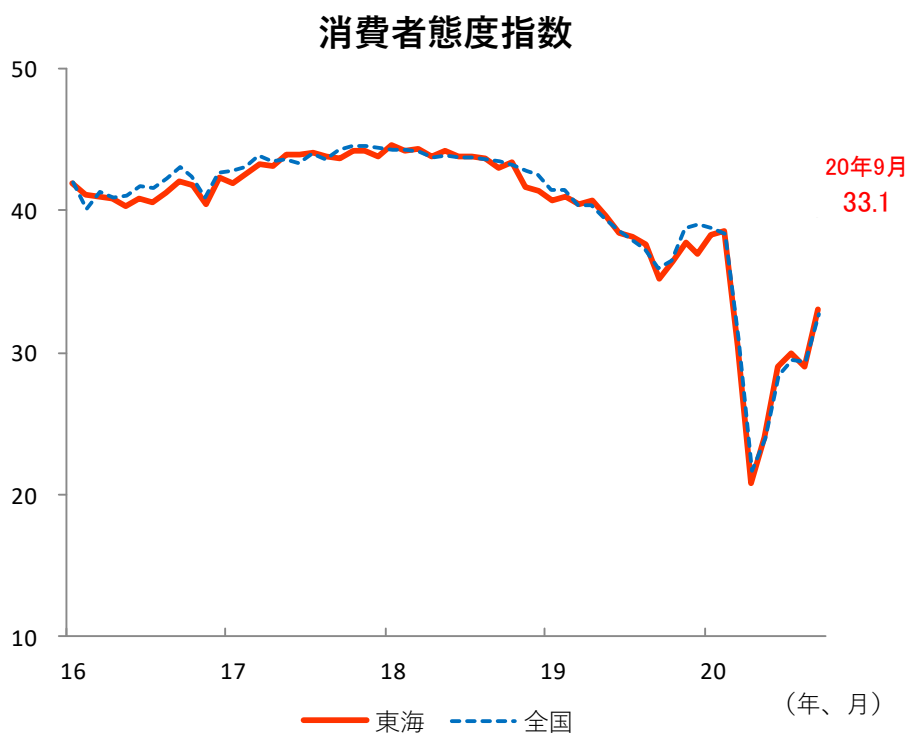
8月も巣ごもり消費等により、スーパー、ドラッグストア、家電、ホームセンターで前年比での増加が続く。9月の百貨店販売(名古屋)は前年比-36.3%と減少幅が前月から拡大した。前年同月が消費税率引き上げ前の駆け込みがあったことも減少幅の拡大につながった



マインド・景況感

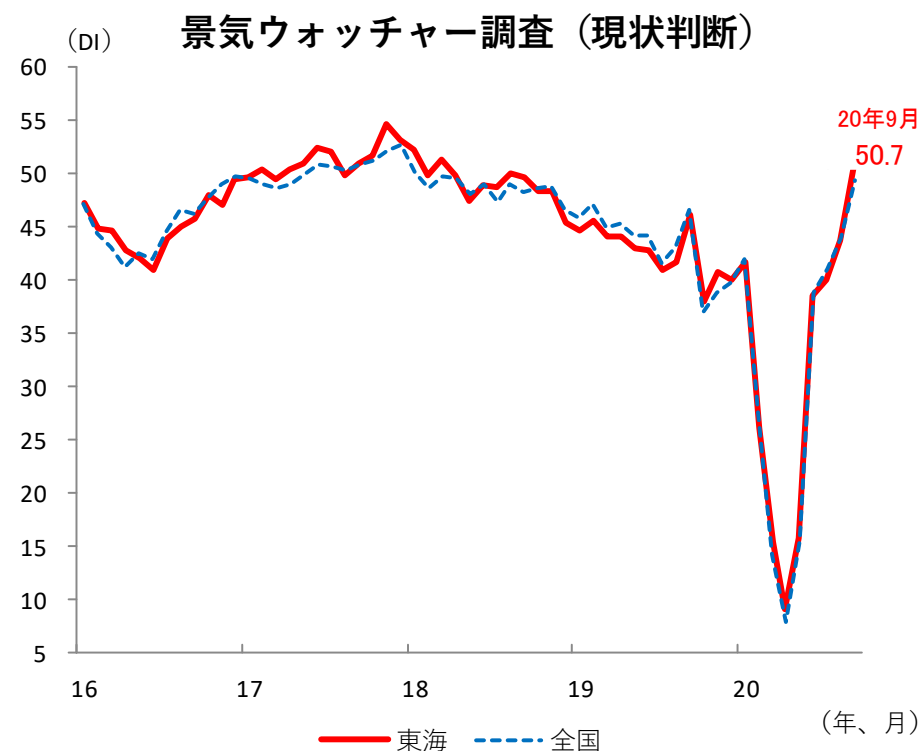
9月の消費者態度指数は33.1(前月差+4.1%pt)と2ヶ月ぶりに増加した。

9月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は50.7(前月差+7.0%pt)と5ヶ月連続で上昇し、横ばいを示す50を30ヶ月ぶりに上回った。東海の景況感は持ち直している。



(注)東海の季節調整値はMURC試算

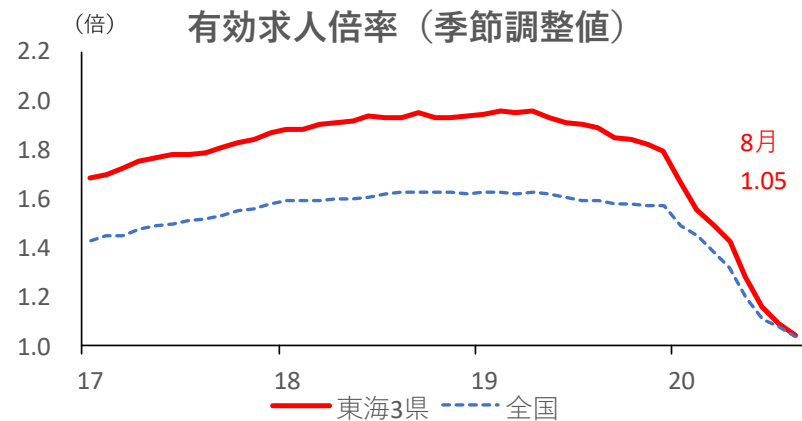
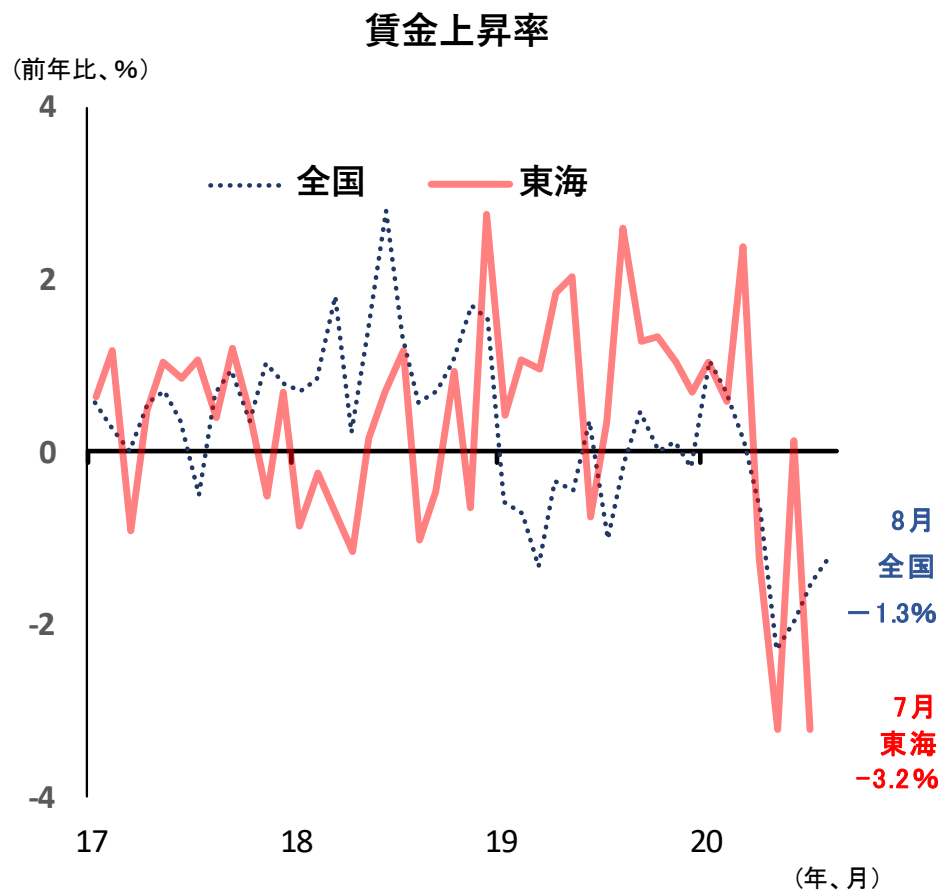
(出所)内閣府「消費動向調査」



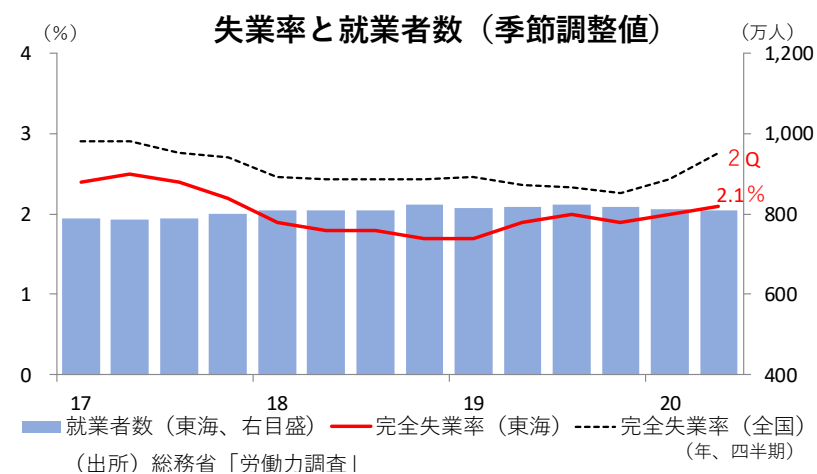
(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

賃金・雇用

7月の名目賃金指数は、前年比-3.2%と減少に転じた。愛知、岐阜、三重、いずれも減少した。8月の求人倍率は1倍超えながら低下基調。20年第2四半期の失業率は2.1%と小幅上昇。就業者数も減少した。



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



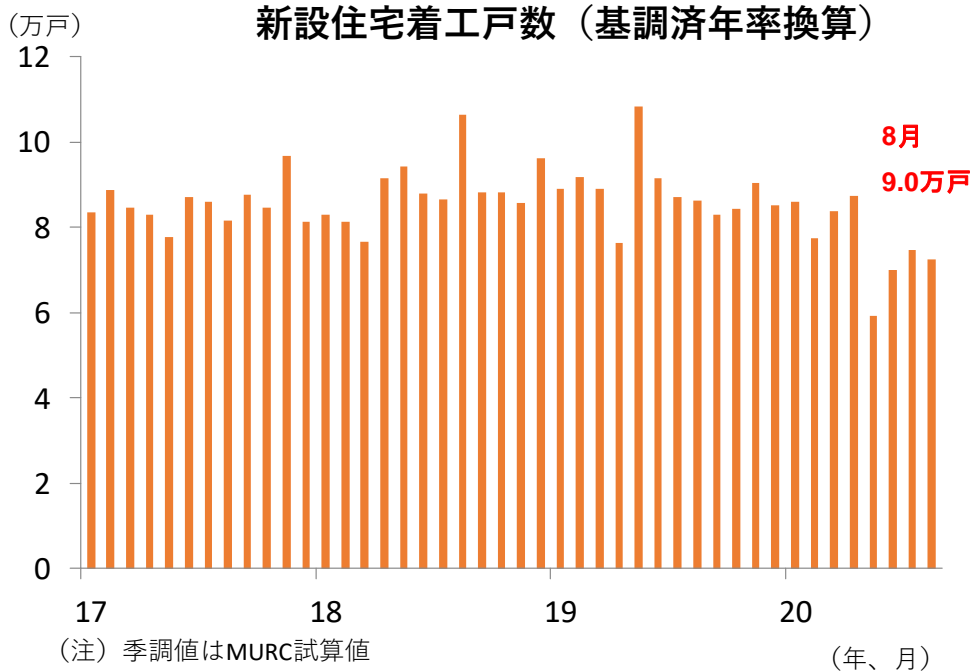
(出所) 総務省「労働力調査」

(出所) 名目賃金指数 (所定内給与)、愛知、三重、岐阜の常用雇用者指数よりMURC作成

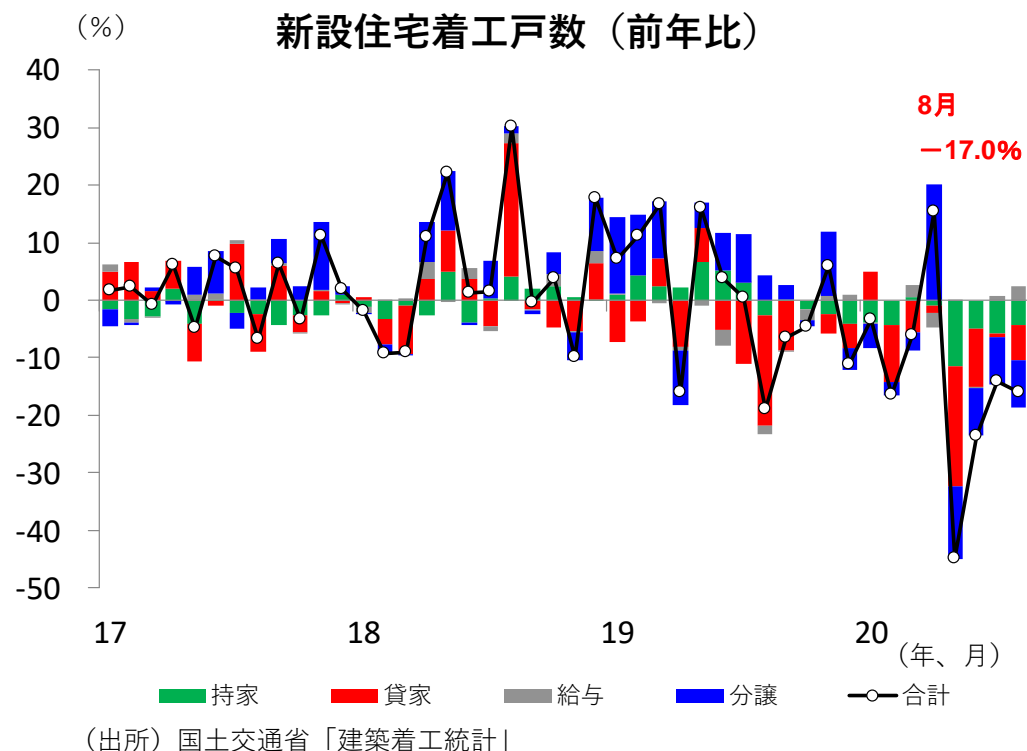
住宅投資

住宅着工は均してみると弱含み。8月は季調・年率で9.0万戸と減少した。原数値では前年比-17.0%と減少した。持家、貸家、分譲、いずれも減少が続く。

新設住宅着工戸数（基調済年率換算）

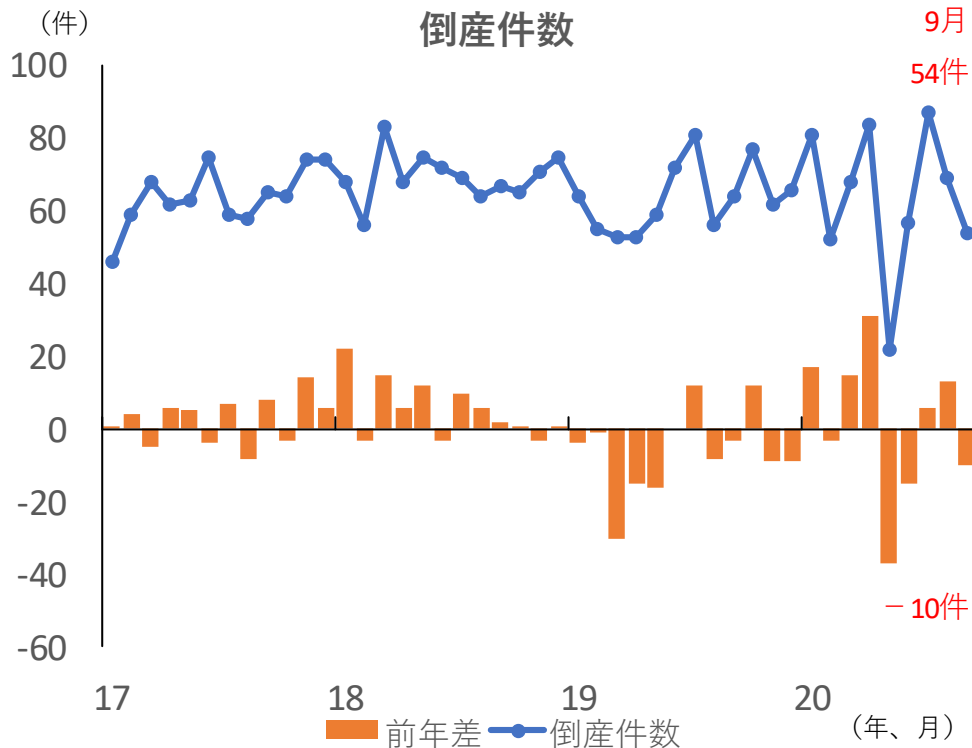


新設住宅着工戸数（前年比）



倒産

9月の倒産件数は前年比で3ヶ月ぶりに減少。
件数の水準は、例年並みで推移している。



公共投資

公共投資は横ばい圏で推移している。



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください